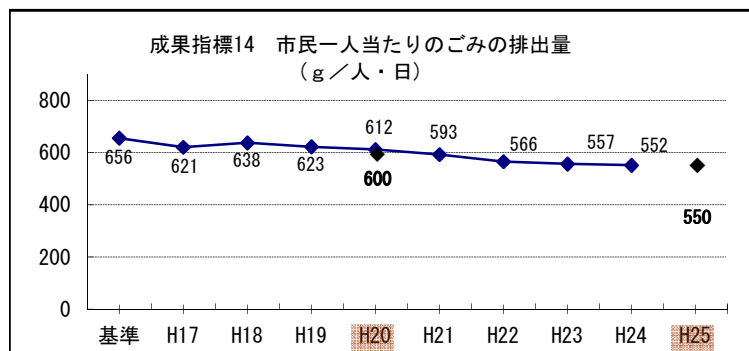


柱	3 廃棄物・リサイクル
分野	I リデュース・リユース
ビジョン	買う人・売る人・作る人 いつも心に“もったいない”



主な事業

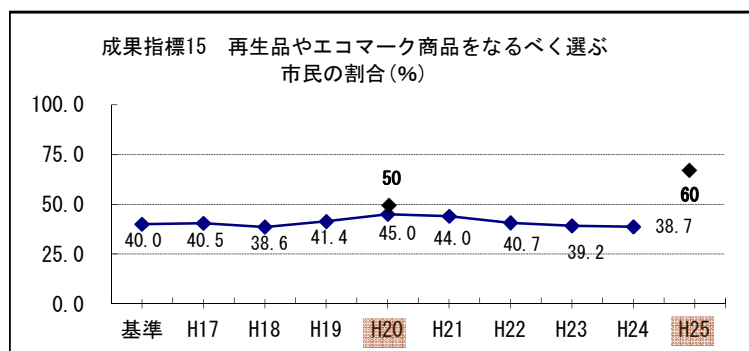
ごみ指定袋制、レジ袋の有料化
集積場所での資源回収
EM処理剤の無料配布
広報等による啓発

計画通りに成果が上がっているか

- ☐ 目標達成
☒ 順調
☐ 順調でない

13

市民一人当たりのごみ排出量は19年度から徐々に減少し、24年度は552gとなり、めざそう値に近づいた。人口増に伴う、ごみ排出量の増加が見込まれる中で、ごみ指定袋制及び資源回収等のごみの発生を抑制する事業により成果指標の推移は順調である。



主な事業

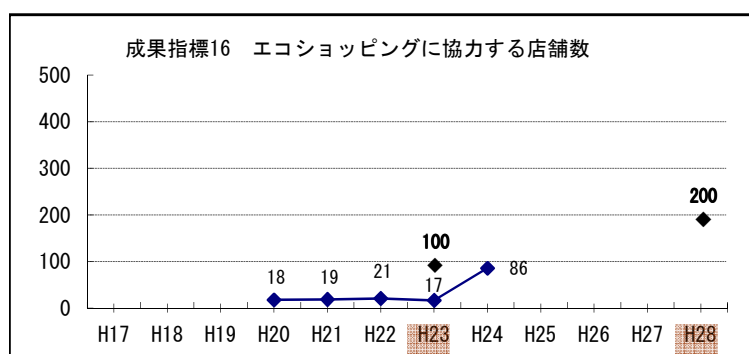
リサイクルフェア
資源集団回収
分別収集事業
広報等による啓発

計画通りに成果が上がっているか

- ☐ 目標達成
☐ 順調
☒ 順調でない

成果指標の分析

「再生品やエコマーク商品になるべく選ぶ人の割合」は、19年度まで基準値とほぼ同程度、20・21年度は上回ったが、22年度から少しずつ下がってきており、あまり順調とはいえない。また、選ぶ人の割合では、50歳代以上の方が多く、職業別では主婦及び無職の方は高かったものの、若年層が低い。そのため、再生品やエコマーク商品を使用することの必要性など、さらに啓発活動が必要と考えられる。



主な事業

レジ袋有料化
広報等による啓発

計画通りに成果が上がっているか

- ☐ 目標達成
☐ 順調
☒ 順調でない

成果指標の分析

「エコショッピングに協力する店舗数」は後期計画から定義付け及び捕捉方法を確立し、数値の把握に努めたため大幅に増加している。しかし、これからも指標の数値の補足が困難なことから、順調とはいえない。レジ袋有料化協力店舗数として16店舗と徐々に減少していることから、さらなる普及啓発に努める。

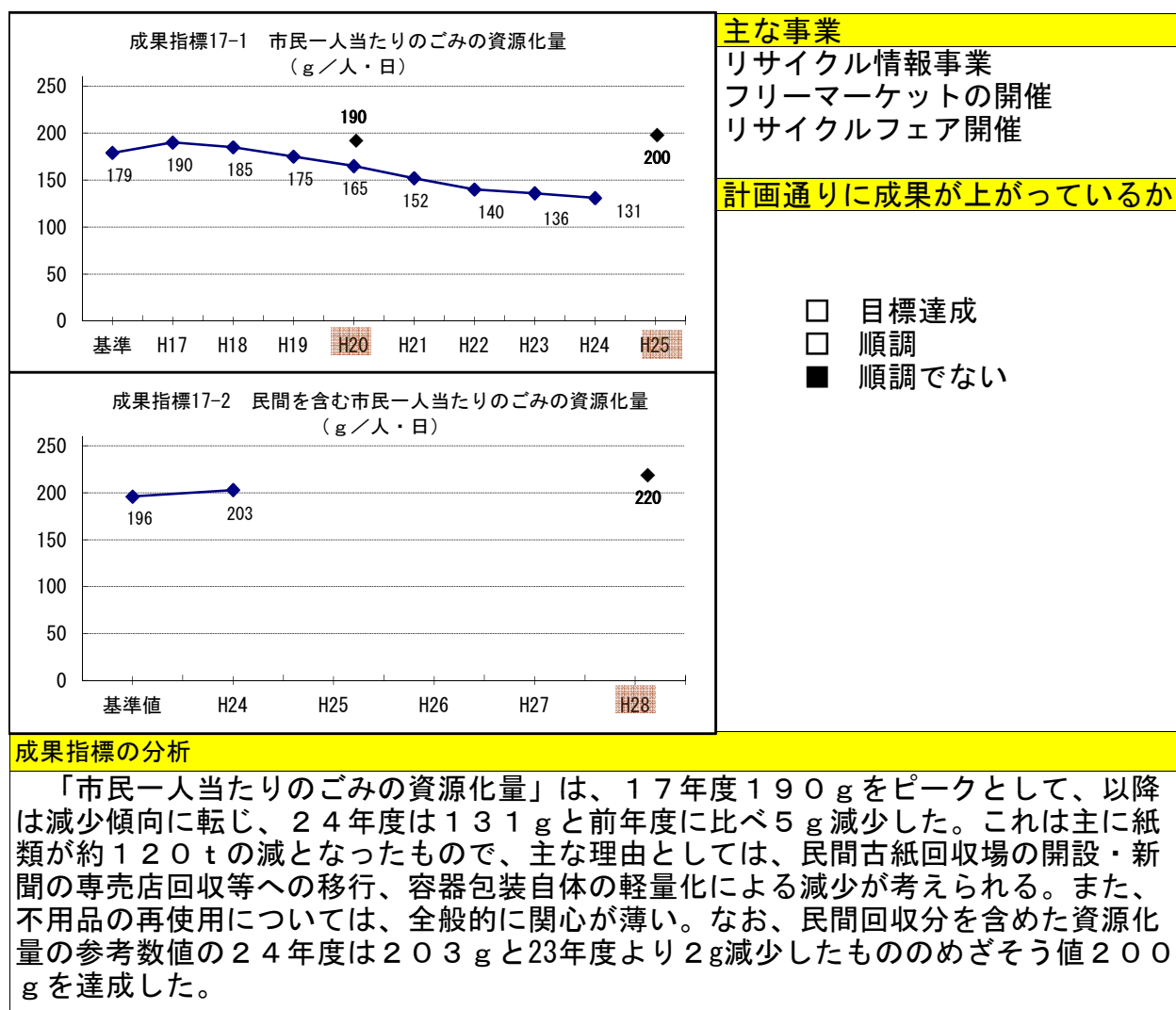
成果が向上する余地（可能性）は？

☐ 大 ☐ 中 ☒ 小

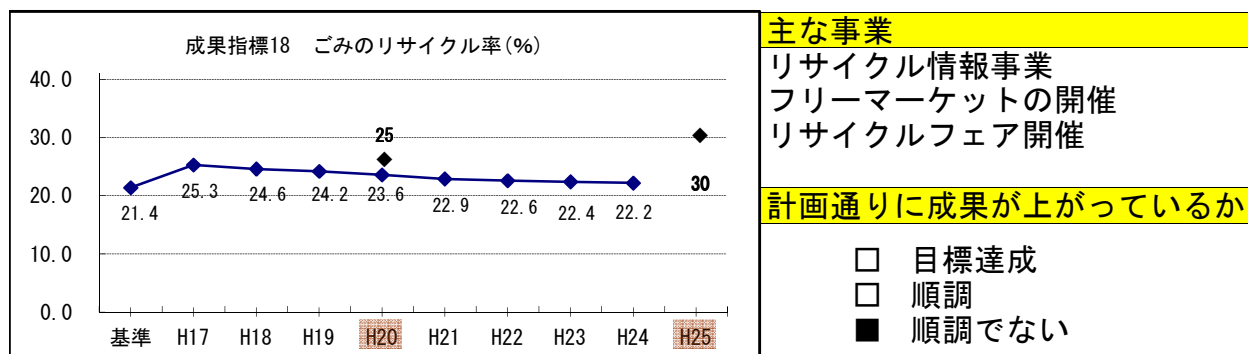
成果向上のためにすべきこと、次年度への取り組み方針

- ①市広報、「ごみと資源の出し方」冊子及びごみ収集カレンダーや3R推進ホームページの充実、イベントでの展示を通じて、3R活動の推進や適正排出を呼びかける。
- ②ごみ減量とリサイクル推進を図るため、資源回収及び廃家電・硬質プラスチック製品等の無料回収を継続するとともに啓発を行う。
- ③エコショッピング協力店舗の定義を基に更なる把握に努めるとともに、普及啓発を図る。

柱	3 廃棄物・リサイクル
分野	J リサイクル・適正処理
ビジョン	子どもの未来を考えて、自然にやさしい処理・処分

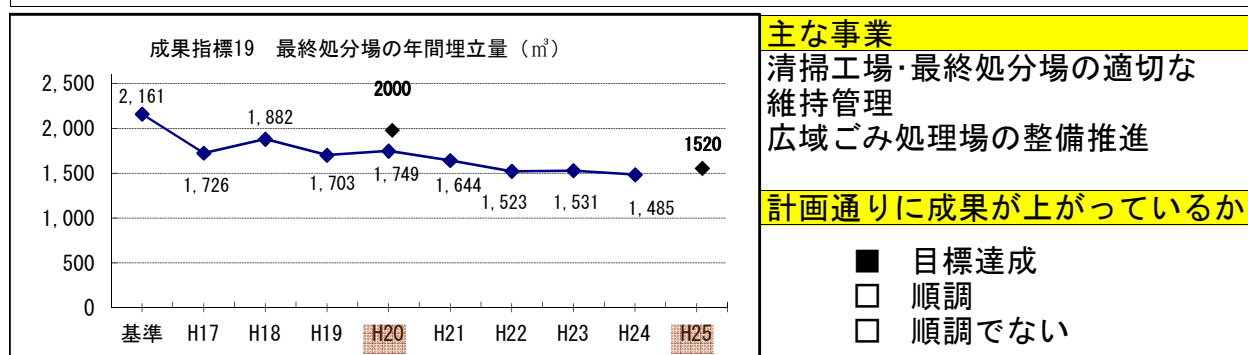


柱	3 廃棄物・リサイクル
分野	J リサイクル・適正処理
ビジョン	子どもの未来を考えて、自然にやさしい処理・処分



成果指標の分析

「ごみのリサイクル率」は、紙類の民間古紙回収場の開設・新聞の専売店回収等への移行、容器包装自体の軽量化による減少により、分別収集・集団回収での回収量が約120tの減となったため順調でない。ただし、資源用袋での回収は、順調に伸びてきている。また、民間回収分を含めた参考数値では、めざそう値を達成している。



成果指標の分析

最終処分場の年間埋立量は、コンクリート・陶磁器類等の搬入量制限や資源化の推進に伴い、ここ数年は大幅な削減はされていないものの徐々に減少し、24年度は溶融飛灰の再資源化を開始したことにより、めざそう値をクリアした。

成果が向上する余地（可能性）は？

☐ 大 ☐ 中 ☒ 小

成果向上のためにすべきこと、次年度への取り組み方針

- ①市広報、「ごみと資源の出し方」冊子及びごみ収集カレンダーや3R推進ホームページの充実、イベントでの展示を通じて、3R活動の促進や適正排出を呼びかける。
- ②ごみ減量とリサイクル推進を図るため、資源回収及び廃家電・硬質プラスチック製品等の無料回収を継続するとともに啓発を行う。
- ③焼却飛灰と溶融飛灰を分離することにより、焼却飛灰のみを最終処分場に埋立、溶融飛灰は民間処理施設で再資源化する。